

第10回

胎児MRI研究会学術集会

The 10th Annual Meeting of the Japanese Society of Fetal MRI

腸管疾患の胎児診断に おけるUSとMRIのコラボ

まずは基本から part2

大会長

川瀧 元良

神奈川県立こども医療センター
新生児科

会場

東京慈恵会医科大学
大学1号館3F講堂

オンデマンド配信致します

<https://m-mirai.com/fmri10/>

日本磁気共鳴技術者認定機構（5単位）の認定研究会です

2025.
2/2
(日)



〔事務局〕 神奈川県立こども医療センター 新生児科 〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4

〔お問合せ先〕 株式会社未来 〒104-0045 東京都中央区築地2-14-6 CAMEL築地1 1203
(運営サポート) TEL: 03-5148-1007 Mail: fmri@m-mirai.com

第 10 回胎児 MRI 研究会学術集会プログラム

セッション 1 食道閉鎖,foregut malformation の胎児 MRI 診断

10:30-12:10

座長：宮崎 治(国立成育医療研究センター 放射線診療部)

与田 仁志(東邦大学医学部新生児学講座)

- Introduction 『食道閉鎖の胎児診断の現状』
川瀧 元良(神奈川県立こども医療センター 新生児科)
- key note lecture-1 『3D 撮像シーケンスの活用を行うための道しるべ』
北川 久(東京慈恵会医科大学附属病院 放射線部)
- key note lecture-2 『3D 撮像を活用した食道閉鎖の胎児診断』
川瀧 元良(神奈川県立こども医療センター 新生児科)
- key note lecture-3 『食道閉鎖に対する cine mode 胎児 MRI の検討』
宮崎 治(国立成育医療研究センター 放射線診療部)
- US からみた MRI への期待-1 『US からみた MRI への期待』
末光 徳匡(東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座)
- US からみた MRI への期待-2 『US からみた MRI への期待』
新谷 光央(浜松医科大学 産科婦人科)
- US からみた MRI への期待-3 『先天性食道閉鎖症診断における MRI と US のコラボの重要性』(案)
土屋 繁一郎(岩手医科大学 産婦人科学講座)
- 症例報告-1 『エコーと MRI が出生前診断に相補的役割を果たした胎児食道閉鎖疑いの 2 例』
石川 雄大(旭川医科大学 産婦人科)
- 症例報告-2 『気管無形成に食道閉鎖を合併した 1 例』
青木 英和(東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野)
- 症例報告-3 『尿直腸中隔奇形シーケンスに合併した食道閉鎖症の一例』
福田 有子(四国こどもとおとなの医療センター 放射線科)

総会

12:10-12:20

昼食休憩

12:20-13:20

セッション 2 イメージインタープリテーションセッション

13:20-14:20

司会：赤坂 好宣(兵庫県立こども病院 放射線診断科)

解答者：中俣 彰裕(自治医科大学とちぎこども医療センター 小児画像診断部)

齋藤 祐貴(聖マリアンナ医科大学 放射線診断・IVR 学講座)

休憩

14:20-14:30

セッション3 下部消化管閉鎖±CAKUT±生殖器疾患の胎児MRI診断 14:30-16:30

座長：桑島 成子(群馬県立小児医療センター 放射線科)
佐村 修(東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座)

- Introduction 『胎児診断の現状』
川瀧 元良(神奈川県立こども医療センター 新生児科)
- key note lecture-1 『T1 強調画像における陰と陽』
北川 久(東京慈恵会医科大学附属病院 放射線部)
- key note lecture-2 『T1 強調画像による下部消化管の観察の意義』
川瀧 元良(神奈川県立こども医療センター 新生児科)
- key note lecture-3 『鎖肛の画像診断 胎児、出生後、鎖肛の時に見てもらいたいもの』
細川 崇洋(埼玉県立小児医療センター 放射線科)
- key note lecture-4 『直腸肛門閉鎖の胎児診断に関する文献』
中野 和俊(中野産婦人科)
- US からみた MRI への期待-1 『胎児超音波による鎖肛診断の現状と限界(総排泄腔遺残と尿生殖洞遺残をまじえて)』
加地 剛(徳島大学病院 産科婦人科)
- US からみた MRI への期待-2 『直腸肛門奇形における US からみた MRI への期待』
小澤 克典(国立成育医療研究センター 胎児診療科)
- 症例報告-1 『胎児鎖肛症例の MRI 所見～鎖肛でない症例との比較～』
川口 晴菜(大阪母子医療センター 産科)
- 症例報告-2 『MRI が役立った直腸肛門奇形の症例報告』
小澤 克典(国立成育医療研究センター 胎児診療科)
- 症例報告-3 『総排泄腔遺残症の一例』
徳永 はるか(愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学講座)
- 症例報告-4 『胎児診断された鎖肛：US と MRI のコラボ』
須波 玲(山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター 産科)
- 症例報告-5 『胎児 MRI を施行したが、診断に苦慮した症例』
牛田 貴文(名古屋大学医学部 産科婦人科)
- 症例報告-6 『出生前より MMIHS を疑った症例』
海野 沙織(都立大塚病院 産婦人科)

休憩

16:30-16:40

セッション4 International session 16:40-17:30

座長：Tung-Yao Chang(Taiji Clinic)
Motoyoshi Kawataki (Kanagawa Children's Medical Center)

- 講演-1 『History and issues of Japan Society of Fetal MRI』
Osamu Samura(The Jikei University School of Medicine)
- 講演-2 『Fetal MR in GI tract - case sharing』
Loyi Lin(Taipei Veterans General Hospital)
- 講演-3 『Fetal MR in TE fistula and mimics』
Hanjui Lee(Taipei Veterans General Hospital)
- 講演-4 『Pharyngeal dilatation on fetal MRI : A new perspective in prenatal diagnosis of esophageal atresia』
Yukiko Michishita (National center for child health and development, St. Marianna university school of medicine)
- 講演-5 『Thinking beyond “Anal Target Sign”— via case sharing & literature review』
Yuching Chou(Taiji Clinic)